

2016年度 ATJ体験記

氏名： M. T.

卒業年月： 2016年3月 卒業学部・学科： 表象文化学部英語英文学科

派遣先学校名： Frankston High School

ATJの期間： 2016年4月～2017年3月（更新：無）

I. ATJレポート

① ATJ参加決定から出発までの準備期間（英語、日本語・日本文化に関わる学習）

英語で案内する京都や日本語教育に関連する講義を履修した事は非常に役に立ちました。また、派遣先の学校の先生とのやりとりを通して、関西を紹介する英語のパンフレットを集めたり、生徒たちに人気のあるアニメを一通り把握したりと、少しでもコミュニケーションが取りやすくなるよう渡航前に準備しておきました。

② ATJ参加決定から出発までの準備期間（渡航手続き関係）

ビザの取得や、海外旅行保険加入の手続き等に関しては、先輩方に相談したり、他のATJ参加者とこまめに情報を交換し合ったりして準備しました。それなりに労力を要しましたが、一つ一つ納得して進めることで、自信を持って渡航することが出来て良かったと思います。

③ ATJとして経験した具体的業務

高校3年生とのチュートリアルが主な業務でした。生徒のレベルや意欲に合わせて週1時間から4時間程度スピーキングの練習を中心に行いました。他にも授業に必要な資料や動画を探したり、HPを更新したり、採点を手伝ったりもしました。

④ ATJ以外の活動

サッカーやAFLの試合観戦、マラソンやフェスティバル等メルボルンのイベントに積極的に参加しました。

⑤ ホームステイ

当初は日本語の先生のお宅でお世話になっていたのですが、忙しい家庭でしたし、常に一緒にいるとやはりとても気疲れしてしまいました。そこで留学生のホームステイ全般を管理する学校のコーディネーターにお願いし、新しいホストファミリーを紹介して頂きました。子どもがすでに独立している落ち着いた老夫婦で、本当の家族のようにとっても良く

して下さいました。しかし特に夏、毎晩のように夕食がBBQで私は日本食がとても恋しくなり、週に一度は日本食を作っていました。

⑥ 健康面、治安面で注意すべきこと

乾燥した気候により常に肌トラブルに悩まされました。ドクターにも何度か相談し、薬や石鹸等処方して頂いたのですが、日本に帰国するまでなかなか改善されませんでした。治安面では、特に気になる点はありませんでした。それでも日没後の独り歩き等は控えるべきだと周囲には口を酸っぱくして言われていました。

⑦ 長期休暇の過ごし方

いつも長期休暇を目一杯使って旅行していました。ウルルやダーウィン、シドニー、ゴールドコースト、ブリスベン、ニュージーランド、シンガポール、マレーシア、インドネシアと様々な所に旅行しました。リフレッシュして新学期に臨むことが出来るのでとてもおすすめです。

II. ATJの感想

① 最も楽しかったこと、最も思い出に残っていること

生徒たちが、何事も一生懸命日本語で伝えようとしてくれるようになった時は、本当に嬉しかったので強く思い出に残っています。卒業してから日本に旅行に来る生徒も少なくなく、誠意を持って向き合って良かったなと報われる瞬間です。

② 辛かったこと、最も苦勞したこと

スーパーバイザーとの人間関係です。多忙な時期は特に、私になんかかまっていられないといったように全く頼りにならず、当初非常にストレスだったのですが、他の先生たちやホストファミリーにも積極的に頼り、相談することで乗り切ることが出来ました。

III. ATJ参加希望者へのアドバイス

① 日本から持って行って、特に役に立ったもの（パソコン持参の有無も含めて）

パソコンは学校から借りられると聞いていたので持参しませんでした。シールやスタンプ等は生徒たちに予想以上に喜ばれました。しかし、一通りの物は現地のダイソーやアジアンマーケットで手に入ります。

2016年度 ATJ体験記

氏名： T. M.

卒業年月： 2016年3月 卒業学部・学科： 学芸学部国際教養学科

派遣先学校名： Lilydale Heights College

ATJの期間： 2016年4月10日～2017年3月31日（更新：無）

I. ATJレポート

① ATJ参加決定から出発までの準備期間（英語、日本語・日本文化に関わる学習）
学習面では特に準備はしていませんでした。

② ATJ参加決定から出発までの準備期間（渡航手続き関係）

ビザの申請は自分でしました。1月の末頃から申請に必要な書類を集め始めて、2月の中旬に全て揃いホバートの事務局に申請書類を全て郵送して2週間後に申請許可が出ました。これは個人で行っても代理店に依頼をしても、申請から許可が下りるまでの期間は区々です。早めに申請することをお勧めします。

③ ATJとして経験した具体的業務

基本的には日本語のクラスに入りクラス巡回をしてわからなくて躓いてしまう学生がでないように教えて回ったり、フラッシュカードなどを用いて発音の練習をしたりします。文化的なことを学ぶ单元ではATJが主体となって日本文化を教えることもあります。私は華道や茶道をクラス内外で教える機会もありました。

④ ATJ以外の活動

一軒目のホームステイ先のマザーがコミュニティーハウスで勤めていたので、イベントがあればお手伝いをしていました。一番印象に残っているのはウエディングのイベントです。「100年のウエディングを祝う」と言うイベントで、地域の人たちが自分たちで着たウエディングドレスや代々受け継がれてきたドレスを持ち寄り、展示してお祝いしました。若い世代の女の子たちがそのドレスを着て前に出て、そのドレスにはどのような歴史があるかなどを説明しました。その際に日本ではどのような式を挙げ、どのようなドレスを用いるのかをプレゼンテーションで話してほしいとお願いされたので、日本のウエディングの歴史・文化を地域の人とシェアしました。宗教的なことを背景に話したのでとても興味深い話だったと好評をいただきました。

⑤ ホームステイ

ホームステイは1回変更しました。一つ目のファミリーは勤め先の学校の生徒がいる家庭でした。山の中にあり交通の便が少し不便だったのと、子どもが大学生と高校生で両親は共働きだったので少し忙しい家庭だったのであまり休日に一緒に出掛けるということがありませんでした。1年間同じファミリーにステイするつもりだったのですが、別のファミリーも経験してみたかったので半年で2つ目のファミリーに移りました。同じ職場で勤める数学の先生のご家庭で、お子さんは2人いましたがどちらも独立していたのでマザーとファザーと私の3人で、のんびりとした暮らしでした。毎朝マザーと一緒に出勤し、休日は3人で一緒に出掛けたり、一緒にガーデンのお手伝いをしたり、ご飯を作ったり、食後にティータイムをしたりと本当の娘のように可愛がってもらいとても素敵な半年を過ごすことが出来ました。ATJは赴任先の学校によってホームステイを変更する回数が違ってきます。他には本人の意思で変更をしたりするケースもあるので、いろいろな家庭を見るといった面でもファミリーを変更するのも良い経験になるかもしれません。

⑥ 健康面、治安面で注意すべきこと

オーストラリアは食の偏りがあると思うので、意識して自身の健康を管理する必要があります。治安は比較的良い国(ビクトリア州は特に)だと思いますが、メルボルンのシティーはやはり大都市なので、いつ何が起こってもおかしくありません。日曜日などは政治的なデモが多く、巻き込まれてしまうと危険です。私が滞在している間にはテロではありませんが、車で街中を暴走した男性がいて死者も数名出たので、常に意識をして危険が起こりそうな場所へ出かける際には十分注意を払うことが大切です。

⑦ 長期休暇の過ごし方

オーストラリア国内を旅行したり、ビクトリア州を旅行したり、家族が日本から遊びに来て一緒に観光をしたりしました。また、私は衣替えも兼ねて、長期休暇を利用し二週間だけ一時帰国をしました。お休みの使い方は皆さん様々です。オーストラリア国内をたくさん旅行したATJの方もいました。私はビクトリア州内以外の旅行はシドニーとタスマニアに行きましたが、どちらもすごく良かったです！タスマニアは特におすすめです。

II. ATJの感想

① 最も楽しかったこと、最も思い出に残っていること

赴任先の学校に日本の高校との姉妹校提携がありました。毎年3月に日本の高校生が2週間語学研修に来ます。今年も3月に研修があり、それはATJの任期終了が近かった私にとって最後に任された大きなイベントでした。研修中は引率をしながら同時通訳をしたり、バスツアーにも同行したり、問題が起きれば学校のスタッフと連携をして解決したり

と、すごく忙しくあつと言う間に過ぎた2週間でした。豪の学生と、日本の学生が互いに日本語・英語を使いながら一生懸命コミュニケーションを図り課題に取り組んでいた姿にとっても感動しました。彼らの学びを近くでサポートできたことが私にとって貴重な経験となりました。また、研修に同行していた英語科の先生から「周りのスタッフや生徒からあなたのお話を沢山聞きますよ。すごく慕われているのですね、私たちも今年のアシスタントの方があなたで本当に良かったです。」伝えていただいたことが本当に嬉しかったです。この一年間自分の働きが周りにどう映っていたのかを知ることが出来た瞬間でした。

② 辛かったこと、最も苦勞したこと

辛かったことはありませんが、ホームステイに滞在するという事は日本にいる時のように自立した自由な生活がある訳ではないので仕事と生活のバランスをとることが難しいです。例えば、私が少しストレスに感じていたことは、交通の便があまり良くないステイ先だったので自分の車がない限りお願いしなければどこへも行けないと言うことです。勤め先の学校へ通う学生がいたので毎日出勤は子供の送り迎えと同じで車を出してもらっていました。朝のスタッフブリーフィングに遅れたり、学校が終わった後は残って仕事をしたくても3時のチャイム後、お迎えが来てすぐに帰らなければいけなかったりと、周りのスタッフとコミュニケーションをとる時間もなかったので、ワークライフバランスをとることが非常に難しかったことが大変でした。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

冬場以外は基本的に洗濯物を外に干すのですが、雨が降っても「濡れても止んだらそこからまた乾かせばいいから大丈夫。」と雨でも洗濯物を取り込まず雨ざらしにするという文化が衝撃的でした。

Ⅲ. ATJ参加希望者へのアドバイス

① 日本から持って行って、特に役に立ったもの（パソコン持参の有無も含めて）

ムヒと頭痛薬などの薬です。ムヒは必ず持って行ったほうが良いです！私は初め持って行っていなかったのですが、蚊に刺される時季になり本当に痒さで眠れないこともあったりしました。豪で売っている虫刺されの薬はあまり合わず即効性もないのでなかなか治らなかつたり跡形が残ったりしたのですが、ムヒを送ってもらい使うようになってそれが全くなくなりました。後は、頭痛薬や風邪薬も合わない可能性が高いので日本から持っていくことをお勧めします。

② これからATJに参加しようと思っている後輩へのアドバイス

このプログラムに参加する人は様々な理由・目標を持っています。私は、日本で国際教

育に関わる職に就くというキャリアプランを持っていたので、留学経験以外にも働く側として海外の教育現場を見て、経験してそれを日本に持ち帰り活かすというのが一番の目的でした。日本語教員を目指している人がほとんどのように感じますが、その他の理由であっても行く価値は大いにあると思います。ただ、明確な目標・目的がなければ非常に難しいプログラムでもあります。というのも、アシスタントと言っても実際に子どもたちと触れ彼らの学びをサポートするわけですから、やはり互いに得られるものがなければフェアではないからです。自身も学ぶことがたくさんありますが、一番に豪の学校、学生にどれだけ自分が貢献していくことができるかがとても大切です。しっかりとしたビジョンを持って渡豪し、貴重な体験をして帰ってこられることを祈っています。

IV. 進路

① 現時点での進路（A T Jの継続、就職先など）

帰国前に以前インターンシップとして勤めていた留学支援団体から業務委託の依頼を受けたので、現在は資料を作成したり留学説明会へ行ったりと週に数日勤務をしながら求職中です。

② 将来の夢

今後も次世代の学生や英語を学ぶ人たちの支援をし、日本の国際教育をより良いものに変えていけるように教育に携わるお仕事をしていきたいと思っています。そして、キャリアを積んだ後には修士号・博士号を取って大学で教えることが大きな夢です。

2016年度 ATJ体験記

氏名： R. I

卒業年月： 2016年3月 卒業学部・学科： 現代社会学部社会システム学科

派遣先学校名： Mount Clear College

ATJの期間： 2016年4月15日～2017年3月25日（更新：有）

I. ATJレポート

① ATJ参加決定から出発までの準備期間（英語、日本語・日本文化に関わる学習）

大学で、日本語教育や外国語教育に関する授業を受講していました。英語も大学の授業で勉強しました。

② ATJ参加決定から出発までの準備期間（渡航手続き関係）

VISAの申請手続きは代行を利用しました。一ヶ月ほどでVISAを受け取ることができたと思います。学校の先生とは事前にメールで連絡をとり、前ATJの方と電話することができました。

③ ATJとして経験した具体的業務

わたしは中学1年から高校3年生の授業でアシスタントをしました。日本語の授業で、主に板書、会話練習、生徒が問題を解いているときは見回ったりしていました。空いている時間は、テストや教材を作ったりしました。めったに一人で授業を担当するという事はありませんでした。学校で、文化のイベント（主に中国のイベント）があった時は、手伝ったりしました。

④ ATJ以外の活動

放課後に、生徒にチューターをしました。また、何度かバララットや他の地域の学校に行き手伝ったりもしました。また、週一回ほど近くの体育館での空手教室に通ったりもしました。空手のレッスンは日本語だったので面白かったです。

⑤ ホームステイ

一年間、同じ家庭にお世話になりました。とても優しくて良い方だったので問題ありませんでしたが、家の場所がすこし町から遠く、バスも少なかったため、夜一人で歩かなければならなかったり、次のバスまで1時間ほど待たなければならなかったりしました。

⑥ 健康面、治安面で注意すべきこと

朝と夜の気温の差が大きいので、服装に気を付けた方がいいと思います。治安は良いと思いますが、夜一人で歩いたりしない方がいいと思います。

⑦ 長期休暇の過ごし方

旅行しました。ノーザンテリトリー、ケアンズ、ブリスベン、タスマニア、シドニーなどを旅行しました。長期の旅行の場合は早くから計画を立てて、チケットなどをとった方がいいかと思います。

II. A T J の感想

① 最も楽しかったこと、最も思い出に残っていること

12年生の生徒との会話練習はとても思い出に残っています。週に一度12年生に空き時間に来てもらい、会話練習をしました。会話練習では、面接の練習や授業の試験の練習をします。一緒にロールプレイで練習したり、生徒にあった答えを考えたりしたのは、大変でしたが、とても楽しい時間でした。

② 辛かったこと、最も苦労したこと

勉強不足で質問に答えられなかった時や、理解してもらえなかった時は苦労しました。また、先生が休みの時は、一人で授業をコントロール出来るか不安です。こし辛かったです。学校の行事の情報が少なく、突然休みになったり、授業がなくなったりしたことがあり少し困りました。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

生徒がとても自主的でした。授業で発言する生徒も多かったですし、全体的にとっても賑やかな授業が多かったです。いいことだと思います。また、テストでもボールペンで書いたり、間違っても消しゴムを使わないで、ぬりつぶしたりして新しい答えを書く事は驚きました。

III. A T J 参加希望者へのアドバイス

① 日本から持って行って、特に役に立ったもの（パソコン持参の有無も含めて）

パソコンは持って行った方がいいと思います。日本語のキーボード入力がない場合があります。

② これから A T J に参加しようと思っている後輩へのアドバイス

日本語教育に興味のある方、英語を勉強したいと思っている方はぜひ参加してみてください

ださい。大変なときもあるかと思いますが、とてもいい経験や思い出になるとおもいます。

IV. 進路

① 現時点での進路（A T Jの継続、就職先など）

同じ学校で、5月からあと6ヶ月お世話になることになりました。その後は、オーストラリアあと6ヶ月に残るか帰国するかまだわかりません。

② 将来の夢

英語を生かせる仕事に就きたいとおもっています。